

バックボードレール 受け渡し部の制作

指導者名：北澤仁一 先生
メンバー：班長 相馬悠人
伊藤勝喜 小林晃秀 蘭田征哉
長谷川大貴 宮下真皓

目的・動機

昨年の課題研究でバックボードレールを延長しましたが、ストッカーとの受け渡し部分が未解決のまま残されて、受け渡しに危険を伴うのでストッカーとレールの間に受け渡し装置を作り、安全を確保しようと思い、設計・製作に着手しました。

使用機器

炭酸ガス溶接機、高速切断機、ボール盤、ディスクグラインダー、フライス盤、巻き尺、スケール、ノギス

作業過程

- ・受け渡し方法の検討



実物大模型

- ・木材を切断



・組み付け

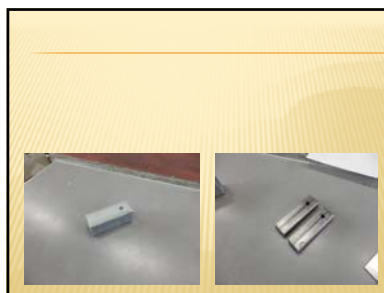


実物大模型の完成

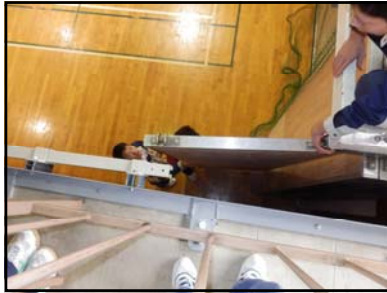
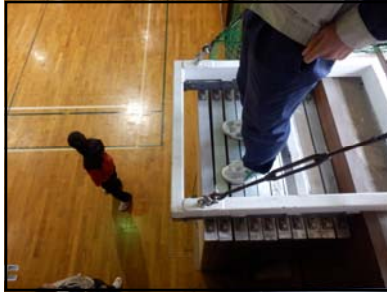


バックパネルの移動軌道確認





完成





まとめ

- ・ 受け渡し部を改良設置した結果、安全性が向上した。
- ・ 複雑な装置を何種類も考えたが、最も簡単な方法が確実に結果に結びつくことがわかった。
- ・ 色々な方法を考えたり実物模型を作ったりして、設計製作の力がついたように思う。
- ・ 見本が何もないところから形あるものを作り出すのは大変だと実感した。

以上で発表を終わります
ご静聴ありがとうございました。